

2050

美濃加茂市

新庁舎整備 基本計画

かわらばん vol.6

西暦2050年頃の市民生活や行政サービスを予測しつつ、未来のまちづくりにとってふさわしい新庁舎整備を考えていきます。

新しい市役所をいかしたまちづくりについて市長と語る会

8月20日から9月3日にかけて、市内各地区8会場において「新しい市役所をいかしたまちづくりについて市長と語る会」を開催いたしました。各会場あわせておよそ600名の方が参加し、新庁舎整備など未来のまちについて市長と意見交換をしました。参加者からは、新庁舎の整備にあわせた防災機能の充実や駐車場の整備、立地についてなど多様な意見や提案が出されました。

市長と参加者の主な意見交換



庁舎の周りに駐車場が点在した場合、細い道路も多いなかで、障がい者や高齢者、子ども連れの方は、スムーズに安全に車で行けるのかな？

駐車場整備

道路については、都市計画とあわせ、エリア全体でどのような整備ができるかを考えていきます。駐車場は、現庁舎の駐車状況などを考慮して、十分な駐車台数を計画します。また、障がい者や高齢者、子ども連れの方は、庁舎の1階などに優先して駐車できるように配慮します。



地震や浸水など災害への対策、防災はどのように考えていますか？災害に強い庁舎を整備することも大切ではないですか？

防災(災害対策)

大きな地震があっても新庁舎が災害対策の拠点として機能するように、最新技術を検討して地震に強い建物にします。浸水については、早めの情報提供により、まずは街が浸水する前に公共施設などへの避難を誘導します。新庁舎も周辺市民の避難先の一つになることが想定されます。新庁舎においては耐震、浸水に対して最善の構造となるように検討していきます。



交流の場・憩いの場には、ある程度ゆとりのある場所が必要であり、前平の市有地を造成、道路整備して建てるのがいいのではないのでしょうか？

前平候補地

前平地区に新庁舎を建てるには大規模な造成も必要であり、費用もかかります。丘の上にあり、だれもが気軽に来ていただく場所としては難しいと思われます。また、前平地区は、スポーツ、健康の拠点として活用していきたいと考えています。

にぎわいの創出

にぎわいがうまれるには、新庁舎を建てるだけではなく、庁舎の周りの人たちの努力も必要ではないでしょうか？

美濃太田駅の西側や南側も含む、大きなエリアで企業やお店といった民間と連携してにぎわいをつくっていききたいと思います。市内の魅力的なものをこうしたエリアに集め、提供することで、市民の皆さんがこれからも住み続けてもらえる魅力的なまちづくりにつなげたいと思います。



美濃加茂市長
伊藤 誠一



商業ビル(シティホテル)にあるコンベンション機能は、周辺市町村にもない大切な機能です。そこで研修会や講演会など以外でも使える多目的なスペースとして整備したいと思います。また、商業ビルをこれからも維持するには大きな費用がかかるため、新庁舎整備とあわせて考えていくことが必要と考えます。

これからも開催していきたいと思います。

意見交換



美濃加茂市商業ビル

商業ビル(シティホテル)にあるコンベンションホールなどの施設を入れてほしい。また、商業ビルの解体と庁舎の移転を同時に行うのはなぜですか？

こうした意見を交換する会は、今後も開催されますか？



最新情報はこちら

<http://www.city.minokamo.gifu.jp/2050>

